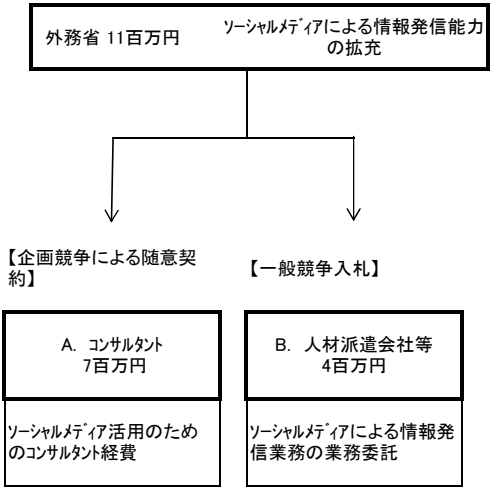


平成25年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	ソーシャルメディアによる情報発信能力の拡充			担当部局庁	外務報道官・広報文化組織			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度			担当課室	広報文化外交戦略課IT広報室			室長 新居雄介	
会計区分	一般会計			政策・施策名	基本目標Ⅲ：広報、文化交流及び報道対策 具体的施策：Ⅲ-1-3 IT広報の実施				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国内外の幅広いインターネット利用者層を対象として、ソーシャルメディアを通じ、我が国の外交政策、国際情勢及び国際問題等に関する情報の発信を行い、我が国の外交活動に関する理解促進をはかる。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本国民及び外国人を対象に我が国の外交政策や日本事情等について理解促進を図り、我が国の外交政策を遂行するためにはインターネットによる迅速かつ適切な広報が不可欠となっているところ、近年普及及び多様化が著しいソーシャルメディアによる情報発信を効果的に活用するため、ソーシャルメディア運用における現状の把握、今後の戦略策定、コンテンツプランニング等のために必要な支援を得ることを目的としたコンサルタント経費及びソーシャルメディアユーザーの拡大に伴うツイッター、フェイスブック等による情報発信業務量の増大に対応するため、ソーシャルメディアに関する知見を有する人材を確保する。								
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	—	—	—	—	11		
	執行額		—	—	—	—			
	執行率 (%)		—	—	—	—			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (26年度)
	外務省公式アカウント(facebook(日本語、英語)、twitter(日本語、英語))「いいね!」及び「フォロー」の合計			成果実績	件				35,000
	(達成度は30,000件に対する割合)			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)					単位	22年度	23年度	24年度	26年度活動見込
	外務省公式アカウントによる発信回数			活動実績	回数				—
	(24年度365日の発信実績を目標)			(当初見込み)					()
単位当たりコスト	303.11(円/「いいね!」及びフォロー数の合計)			算出根拠	要求額 10,609千円÷26年度目標値35,000件＝303.11円/件数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	コンサルタント経費	—	7	近年普及及び多様化が著しいソーシャルメディアによる情報発信を効果的に活用するため、ソーシャルメディア運用における現状の把握、今後の戦略策定、コンテンツプランニング等のために必要な支援を得ることを目的としたコンサルタント経費を新規に要求する。					
	情報発信業務委託	—	4						
計	—	11							

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	インターネットユーザー、ソーシャルメディアユーザーは増加の一途を辿っており、本事業を実施することにより、各ユーザーに対して迅速かつ適切に情報を発信し、我が国の外交施策への理解促進をはかる。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	現時点においては未執行であるが、一般競争入札あるいは企画競争により競争性を確保し、コストの削減に努める。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	ツイッター、フェイスブックといったソーシャルメディアを利用した広報は、他の手段と比較して極めて実効性が高く、従来のウェブサイトをはじめとする媒体による広報との相乗効果が期待出来る。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	高い費用対効果が得られるよう、コンサルタントの効果的な活用に努める。					
外部有識者の所見						
—						
行政事業レビュー推進チームの所見						
	適切かつ効率的な事業実施に努める。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
	—					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

個別事業名: ソーシャルメディアによる情報発信能力の拡充

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)